

令和3年度(第3回)県政モニターアンケート集計結果
 〈生涯学習について〉

【調査の目的】

近年、少子高齢化による労働人口の減少、科学技術の高度化や経済のグローバル化など、社会や経済が大きく変化し、私たちがいきいきとした生活を営むためには、これまでの趣味・教養や知識の習得だけでなく、職業上の能力を経済的に高めていくことや地域社会の課題に地域で対応できる能力を身につける必要があります。

このように、社会の変化にともなって生涯学習に求められるものも変わっていく中、更に生涯学習を推進していくための施策検討のため、生涯学習に関する皆さんの現状やご意見をお伺いし、参考とさせていただきます。

(人づくり・県民生活部 社会活動推進課)

※生涯学習とは

人々が自発的意思に基づいて、「自己の充実」、「生活の向上」、「職業能力の向上」のために、自ら学ぶ内容を選び取り、充実した人生を送ることを目指して生涯にわたって行う学習のことです。

※1 回答者数:361名

※2:問1～問6まで複数回答可

問1	この1年間に次のような学習をしたことがありますか。	回答件数	847
1	趣味的・教養的なこと(音楽、美術など)	170	47.1%
2	健康やスポーツに関すること(健康法など)	141	39.1%
3	子育てや福祉(介護、手話など)に関すること	102	28.3%
4	地域活動などの社会貢献活動に関すること	72	19.9%
5	仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など	156	43.2%
6	日常生活での実用的な知識や技能(料理など)	138	38.2%
7	その他	12	3.3%
8	特にしていない	56	15.5%

【その他】※抜粋

- ・SDGs
- ・政治
- ・投資
- ・政治哲学

問2	生涯学習を行う場合、どのように情報を入手していますか。	回答件数	726
1	県や市町村が発行している広報誌やチラシ	240	66.5%
2	県(ふくおか生涯学習ひろば)や市町村のホームページ	119	33.0%
3	県や市町村以外のウェブサイト	129	35.7%
4	公民館の掲示物(ポスター・チラシ)	78	21.6%
5	新聞	108	29.9%
6	その他	52	14.4%

【その他】※抜粋

- ・インターネット、SNS
- ・友人、知人、学校など周囲からの情報
- ・図書館、書籍、会報
- ・講習会、民生委員の定例会

問3	今後学習を行う場合、どのような講座に参加したいと思いますか。	回答件数	852
1	公民館など公的な機関が開催する講座	166	46.0%
2	大学などの公開講座	156	43.2%
3	工場見学・モノづくり体験など企業の専門性を生かした講座	154	42.7%
4	NPO・ボランティア団体などが開催する講座や体験活動	113	31.3%
5	民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどの講座、教室	138	38.2%
6	通信教育や放送大学の講座	89	24.7%
7	特に参加したいとは思はない	25	6.9%
8	その他	11	3.0%

【その他】※抜粋

- ・オンライン講座
- ・病院で行われる勉強会

問4	今後学習を行う場合、どのようなことを学びたいと思いますか。	回答件数	967
1	地域の歴史や伝統などに関すること	89	24.7%
2	地域課題(少子高齢化、防犯・防災、環境など)の解決に関すること	74	20.5%
3	趣味的・教養的なこと	226	62.6%
4	健康やスポーツに関すること	158	43.8%
5	子育てや福祉に関すること	107	29.6%
6	料理やパソコンなど日常生活に役立つこと	162	44.9%
7	仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など	137	38.0%
8	生涯学習に関心が無い	8	2.2%
9	その他	6	1.7%

【その他】※抜粋

- ・語学
- ・政治や世界情勢

問5	学習によって身につけた知識・技術や資格をどのように生かしていますか。	回答件数	713
1	地域活動やボランティア活動に生かしている	91	25.2%
2	子育てや教育に関する活動で生かしている	119	33.0%
3	指導者として、他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている	36	10.0%
4	仕事や就職の上で生かしている	178	49.3%
5	家庭や日常生活に生かしている	234	64.8%
6	特に生かしていない	49	13.6%
7	その他	6	1.7%

問6	多くの人が地域や社会への活動に参加するようになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。	回答件数	868
1	地域や社会での活動に関する情報提供	208	57.6%
2	地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけづくり	207	57.3%
3	活動の成果が社会的に評価されること	142	39.3%
4	交通費などの必要経費の支援	144	39.9%
5	コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること	149	41.3%
6	その他	18	5.0%

【その他】※抜粋

- ・参加特典を設ける
- ・時間、経済、精神的な余裕
- ・学びを活かせる機会の提供
- ・仕事をする人が参加しやすい開催日程の再考
- ・オンラインの活用
- ・内容を充実させて、料金を下げるために、自治体や企業等からの補助金活用やボランティアの協力が必要

問7	生涯学習について、これまでの設問以外に意見がありますか。	回答件数	361
1	ある(次の設問で具体的に記入してください)	46	12.7%
2	特にない	315	87.3%

○地域貢献・社会貢献活動

・今までの生涯学習は定年後の趣味・教養・娯楽が中心の様な感じがしていたが、社会保障費等の削減のため、職業で得た能力を高め、地域の課題に自分達で対応できる能力を身につける為の生涯学習に変わった事を感じられていなかった。(50代/男性)

○地域社会との関わり方

・生涯学習は、他人に言われてするものではなく、自分自身がやってみたくてやるものであり、例えば仲間づくりや地域社会への融和などの視点で勧誘することは出来るものの、結局は個々のやる気などに左右されてしまうものと思料。心身両面で余裕がある方々は容易だが、そうでない方々にとっては日々の暮らしを守ることが最優先であり、広げていくには難しい課題かと思えます。(50代/男性)

・生涯学習は、自主的に、自発的に行うものなので、参加者を増やそうとするのは、少し、違うと思う。いろんな学び方があることや、実際に、活動している人たちの感想や活動状況などを、発信したらいいと思う。学ぶのも学ばないのも、個人の自由で、学習は、いつでもできるものだと思う。(50代/女性)

○生涯学習に取り組める環境づくり

・社会人が福岡の学校や施設でコースや講座を受講する場合になにかしら補助を出すというのはどうでしょうか？(もちろん選考等あってもよいと思います)(20代/女性)

・学ばない人はいつまで経っても学ばない。学びたいと思う人がもっと深く学べる環境をととのえてほしいです。地域や社会に参加したらすごいお得とかあれば参加します。時間も労力も奪われて何も得るものがないと参加しなくなります。

参加するハードルを下げたあげてあげる工夫が必要かなと。(30代/男性)

・特に何らかの資格を取るというのではなく、日々学習することは生活の質を高めるためにも有意義だと思っています。特に高齢者にとっては。そう思っているものの、費用の問題があつてなかなか前に進めないこともあります。企業に勤務している人が資格を取得すると雇用保険から補助が出る制度のような、高齢者が生涯学習に挑戦したときにも公的な補助制度があればいいと思います。(60代/男性)

・これまでの生涯学習は特定の場所に講師と受講者が集まり、かじこまった形で実施されていたように感じる。もっと多くの人に生涯学習を推進するために場所や時間の制限をなくし、学びたい人が自由に学べるような環境作りが重要ではないかと思う。(50代/男性)

・なぜ許す時間のある人が学べる場所しかないのか。もっと幅広く時間調整ができる学びの場があれば、まだまだ子育て等違うやり方の手助けができるのに。

また、企業と共に幅広く活躍できる場があれば、ボランティア活動として取り組める場所があれば、さまざまな分野が手を挙げて生涯学習塾が成立するのではないか。(40代/女性)

・生涯学習を受けることができる大学や施設は都市部に集中し、田舎になるほど限られている。情報格差・地域格差を減らすためにも、もっとオンラインでの講座を充実させるべきである。(40代/男性)

・先日、ネットでシルバー人材センターに関する記事を読んだ。私自身はシルバー人材センターについてよく知らないが、記事やほかの人のコメントを見る限り、もっとそこが上手く機能すればいいのと思った(労働内容に対する適切な賃金の確保、能力と仕事とのマッチング、組織の変革など)(30代/女性)

○生涯学習機会に関する要望

・公民館等で行われている生涯学習に参加したいと思いますが何が行われているのか良くわからない。講座の内容を分かりやすく紹介し、また体験談等あるといいと思う。(60代/男性)

・工場見学やボランティア団体だと、自宅から遠い所での開催が多く、小さい子連れで現地に行くのが困難なため、自宅から近い場所を選びがちです。主催者側は、どのような参加者を対象とするかで、開催場所を検討した方が良く感じています。(30代/女性)

・生涯学習に興味のある方は多いと思うが、その参加の仕方や、窓口がわからない人が多いと思います。その障壁を取り去ることができれば多くの時間に余裕のある高齢者が参加すると思います。(60代/男性)

・人生100年時代を迎えて生涯学習はとても必要だと思います。しかしながら、所謂ムラ社会的な環境に参加するのは難しい側面もある。もっとオープンな学習の場にして頂きたい。(40代/男性)

・市や地域でやっている講座は平日の昼ばかりで、仕事をしている人達が行きやすいよう、平日夜とか土日もたくさん講座を開いてほしい。(40代/女性)

・まずは、関心を持つことから始まると思うので、情報提供が重要だと思う。(70歳以上/女性)

・活動内容を定期的に発表できる機会を設定する。そして評価の高い活動内容については個人、団体(グループ)を表彰する。(70歳以上/男性)

○参加したい講座や希望する講座のあり方

・北九州市民カレッジは良い試みだ。コロナで中断しているのは残念。(70歳以上/男性)

・テーマ3の「自殺対策」とつながるが、これから必要とされるITスキルやプログラミングなど、人手が足りず、求人のニーズがある分野で若者や失業者、女性(失業者・産休や育休でブランクがある人など)を対象とした講座を支援付きで行ってはどうか。優秀な人材を見つけて企業に紹介するなどの出口戦略があれば希望者は増えると思うし、人材が供給できれば企業誘致にもプラスになると思う。福岡はIT分野に重点を置いた成長戦略掲げているので、その人材育成を目的とすれば支援のメリットはあるのではないか。(50代/女性)

・北九州市にしか在住したことがないので当市の事ですが、数十年前は勤労青少年センターでの活動や市の中央公民館で青年学級などがあり若者に向けての生涯学習が盛んに行われていたのに、最近はなくなっているのもっと若者向けの物を行ったら良いと思います。(60代/女性)

・公民館などを利用した講座・教室は自宅近くで、費用も安く参加できるという大きなメリットがあります。地域住民が何を学びたがっているかを把握して魅力的な講座・教室を計画し、広報していただけたらありがたいです。(50代/女性)

・市の公民館が主催する講座を受けてみたいと思います。(60代/男性)

・語学学習(現在は、中国語を習っています。)は、これからの社会生活、インバウンドなどへの対応ばかりでなく、地域貢献やボケ防止にも特に役立つと思っています。これからも一生続けたいと考えています。(60代/男性)

・高齢者やリタイアしている方々にも、いろいろなノウハウを若者や主婦に伝えてもらいたい。
また、学生たちに職業紹介も含め、夢を持たせるような、将来を考える目標作りやきっかけとなる講演、講座などをしてもらいたい。(40代/女性)

・日常生活や仕事に役立てられる知識を学習したり、その場で色々コミュニケーションを図る事が出来たり、自分とは違う視点での、その人たちの考え方を知ったりすることは、人間として又成長できる良い機会になり、嬉しいことだと思います。特に自宅に閉じこもりがちになってしまう、退職後のご高齢の方向けの、気軽に参加出来るパソコン教室や料理教室などを地域でもっと増やして欲しいかなと思います。自分の両親などがそのような活動に参加して、生活に潤いを持ってくれると子供としては安心です。(30代/女性)

・気軽に地域で参加できるようなイベントをもっとたくさん開催してほしい。アンケートなどでしてほしいものを募集してくれると尚良い。ワンパターンでつまらない講演会とかは要らない。必要なものはお金を払ってでも探しているが、なるべく安価な良質なものを地域が提供してくれるとありがたい。(50代/女性)

○関係機関との連携

・ボランティア講習を受け、社協会というところに登録にいったが登録を受け付けてくれる人からも熱意を感じることもなく、ただ単に「登録にきたから用紙を記入させて受け付けた。」というだけの態度だった。ボランティアを何とか有効活用して、必要な人にマッチングしていこう、という姿勢ではなかった。

もしかしたら、社会福祉協議会というのはメインの仕事は別にあって、一応名目上のボランティア登録窓口になっているだけなのかなあ、という印象で残念でした。

ボランティア講習に参加した時の開催者さんたちは本当に熱意を持って呼びかけてくれていたのにとても残念。せっかく、呼びかけを一生懸命にしてくれる人がいるのに、連携というか、しくみというか、非常に残念でした。(50代/女性)

○学んだ成果の活用

・情報の入手が容易なこと、やりたいと思うことがやれる場があること、その支援体制が整っていること、その活動が評価されること(有料で開催、交通費の支給、市や県からの表彰など)が揃えば、活動は拡がり易いと思います。私の例だと、メンタルヘルスカウンセラーの資格を取得し、東京在住中は、ボランティア活動の場がありましたが、福岡ではない(或いは、情報に行き当たらない)ことや多少の場を見つけても、個人活動はNG、団体のみOKなどの意味不明な条件が付けられたりと残念ながら、東京と福岡を比較すると情報発信量、機会・場の量、受け入れ体制などなど、どれをとっても不足していると感じています。先の自殺の問題にも関連しますが、世の中に恐らくあふれている、カウンセラーさん達をもっと有効に活用してもらい取り組みや仕組み作りはできると思います。保健師さんや看護師さんを否定する訳ではありませんが、国家資格と民間資格ということだけで、採用条件などで差別(敢えてそう表現します)されることばかりですが、まずは、表面的なものではなく、実態で評価する世の中にして頂きたい。(50代/男性)

○行政に望む支援

・一流の音楽家のコンサート、演劇、著名な方の講演会などを県がある程度補助をして多くの人が手ごろな料金で楽しめる機会を作って文化のレベルを上げるようにしてほしいと思います。(70歳以上/女性)

・福岡はアジアからの観光客も多いので、県が積極的に公共交通(バスの運転士さんなど)に外国語を学ぶ機会又は翻訳機を与えるべきだと思う。運転士さんが中国人や韓国人の観光客に何かを聞かれて困っている場面をよく見かけてました。福岡に気軽に多言語が話せる人が増えれば、世界中の観光客にも魅力的な県として話題になると思います。(40代/女性)

・生涯学習として自身で研究会など積極的に学んでいる高齢者もよく見かける。しかし、団体自体が大きくなりすぎて、講演会などで同じ研究会の会員で予約がすべて埋まってしまい、トラブルになることもある。個人の学ぶ姿勢は奨励すべきことだが、行政が仕掛ける生涯学習だからこそ団体活動をする方々の活動内容にも目を配らせる必要があると思われる。(50代/女性)

・現状では生涯学習がまだ社会的に認知されていないのではないかと思います。重要だと理解しているものの実際には経済的、精神的にもある程度の余裕がないと取り組めないと思います。行政側から何らかのサポートがあり学びの場が広がればいいと思います。(40代/女性)

○その他

・県が主催している生涯学習は年間どのくらい開催しているのか。民間のカルチャーセンター等の方が複数の講座が開催されていると思う。市政たよりでは、ヨガなどあるが、参加費が高いと思う。(30代/女性)

・退職して数年年長者大学に通いましたが、よき友を得ることができました。(70歳以上/男性)

・生涯学習の結果を実用的に活かすという問5のような考え方は適切でない。学ぶこと自体が楽しみであったり、学ぶことで達成感や充実感を実感できるだけでも生涯学習の意義がある。実用的に活かせなければ学ぶ意義がないというような偏見が感じられる。なお生涯学習の問題と地域や社会への活動参加(問6)とは別な問題であろう。このような性質の違う問題を混合するのは不適切である。(50代/男性)

・私は現在学校地域共同事業の一環で、地域の小学校の一・二年生を対象にした宿題ボランティアのリーダーをしていますが、なかなかスタッフが集まりません。今の世の中全てにおいていえることですが、人がいるのに人がいない。

特に男性の高齢者が参加が少なく、家に引きこもっている人が多いようです。高齢になれば特に、人に会ったり用事をつくったりして家から出ることが必要だと思います。(60代/女性)

・専門学校などに課程を設けて国はリカレント教育を進めているが、実際しようとする学校側にとっては負担が大きい。メリットもあるだろうが、人手不足である学校現場でリカレント教育を進めるとなると現場の負担が増え、本来の課程が疎かになるのではないかと思います。(30代/男性)

・生涯学者というと高齢者等が学ぶ、というイメージがある。若い時から「生涯学習」という言葉と内容を広く広める必要がある。(60代/女性)

・生涯学習は本来「当たり前」の事で、それをする人は本来的に「自発的」であるが、集団生活の中で分業制を選択した人間は、経験した他人からの教えが非常に重要であると考え。中高年層以上となると折角得られた知識や情報をアウトプットする後進の相手とスムーズな伝達体制がない。世代間のコミュニケーションを恒常的に行える時間と場所(オンオフ問わず)がなければ、先達の活きた経験に触れずに、電子的に仕入れた情報を、さも自身で体験したかの様に勘違いする若者が増え続けるだけだと思う。(40代/男性)

・本当に地域や社会への活動に参加することが必要であろうか。これまでも生涯学習について行政が多くの手法を用いて推進してきたが、一度立ち止まって考える時期ではないか。生涯学習は自分のために自らが努力すべきものであり、だからこそ喜びもある。そして同じ趣味人が集いその広がり自然と地域への触れ合いにもつながるのではないか。(60代/男性)

・子育て真っ只中で地域、社会まで参加する余裕がない。メリットがあれば参加するが、時間をとられて結局イライラして家族に迷惑をかけてしまう。報酬など無いと今時厳しい。(30代/女性)

「学び」の情報発信

生涯学習情報提供サイト「ふくおか生涯学習ひろば」で次の情報を発信しています。

○県内の大学や県の施設等が実施している学習情報

○様々な機関・団体のホームページとリンクして、リカレント教育（学び直し）やスキルアップ、大学の公開講座、ボランティア活動につながる情報を発信

ふくおか生涯学習ひろば

ふくおか 生涯学習



URL <https://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/>

学びにつながる みんなの未来
ふくおか生涯学習ひろば
福岡県生涯学習情報提供サイト

初めて利用される方へ

情報発信!
学習情報の発信(登録・更新)はこちらから

音声読み上げ 文字サイズ 小 標準 大

サイト内検索 検索

HOME 学ぶ 活かす 活動レポート お役立ち情報 お知らせ

お知らせ NEWS

一覧はこちら >



2021年12月20日

【放送大学】2022年度第1学期（4月入学生）出願受付中！

2021年12月3日

【福岡県の職業訓練】令和4年度入校生募集情報

2021年11月29日

【福岡県立社会教育総合センター】子育てWEB講座（ふくおか子育てパーク）

2021年11月19日

福岡県内市町村の生涯学習推進体制等に関する情報を掲載しました。

学ぶ
LEARN



学びをさがす

SEARCH

最新！学びの新着情報

紹介コーナー（活動・講座）

NEW!

開催日：2021年11月27日～2022年1月23日
【北九州市立美術館分館】こくまちゃんとしくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界

開催日：2022年1月22日
第25回九工大わくわく科学教室『三角形のおへそを探してモビール工作～重心とバランスの性質を学ぶ～』

開催日：2022年1月15日～1月21日
「ベトナム・福岡歴史文化交流展」～見て、聞いて、食べて。ベトナムのすべてを感じよう～

レポート

学ぶ

開催日：2022年1月13日
【福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみん】NPO基盤強化講座 第1回【オリエンテーション】組織の原点を見つめ直す

NEW!

八洲学園大学 公開講座

開催日：2021年11月14日～2022年3月31日
【八洲学園大学】新しい時代の「リーダー」としての行動とは！

NEW!

開催日：2022年1月22日
【オンライン開催(Zoom)】福岡女子大学 社会人学び直しプログラム「イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム」 講座説明会 & 無料体験ワークショップのご案内

NEW!

開催日：2021年12月4日～2022年3月19日
第52回特別展 ジェンダー～性にまつわる思い込みを疑う～

レポート

活かす

開催日：2020年4月1日～2021年3月31日
学習支援ボランティア（福岡県学習支援ボランティア人材バンク）

もっと見る >

もっと見る >